

平成23年度

まちだのよさん

—この一冊で町田市の予算がわかる!—




まちだのよさん

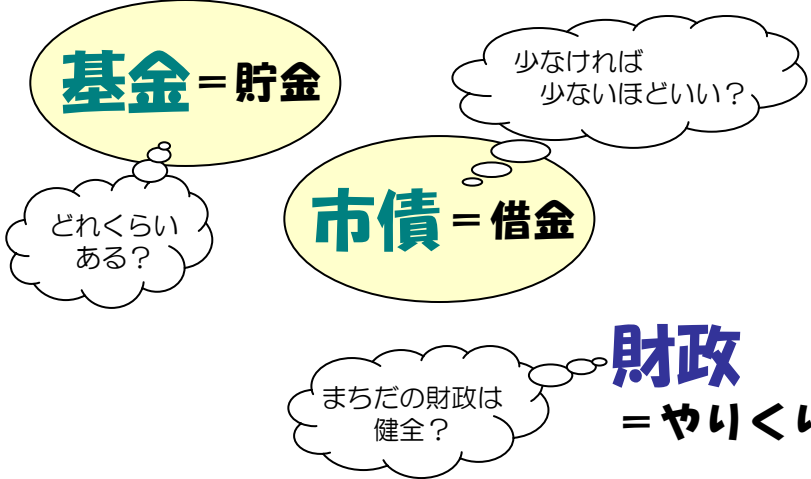
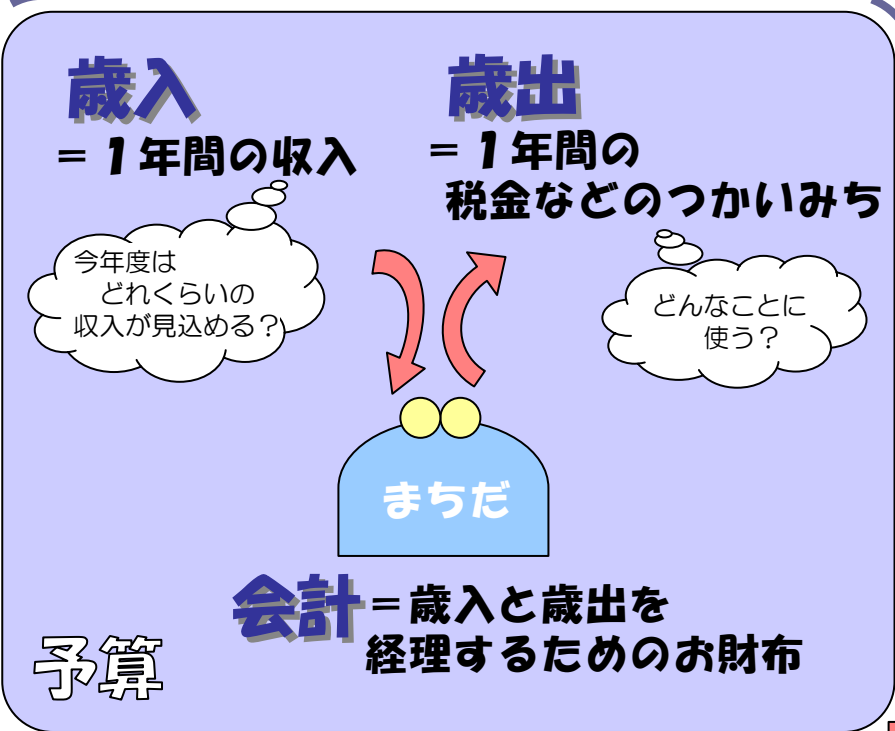
もくじ

- ・「**予算**」から何がわかる？ **1ページ**
－予算についてのおはなし(その1)－
- ・「**予算**」はどうやって決まる？ **2ページ**
－予算についてのおはなし(その2)－
- ・**町田市のお財布の大きさはどれくらい？** **3ページ**
－会計規模についてのおはなし－
- ・**町田市にはどんな収入があるの？** **4ページ**
－歳入についてのおはなし－
- ・**税金などの収入はどう使う？** **6ページ**
－目的別歳出についてのおはなし－
- ・**市のサービスにはどんな経費がかかっている？** . **8ページ**
－性質別歳出についてのおはなし－
- ・**町田市の貯金と借金はどれくらい？** **12ページ**
－積立金と市債についてのおはなし－
- ・**町田市の財政状況はどうなっているの？** **13ページ**
－財政状況についてのおはなし－
- ・**町田の未来を築く！** **14ページ**
－平成23年度の事業について－
- ・**もっと予算や財政について知りたい場合は？** . . **16ページ**

国や地方公共団体は、新しい年度が始まる前にこの先1年間の収入と支出の見積りをします。これを「**予算**」といいます。興味がない？むずかしい？まあ、そう言わず、一緒に「まちだのよさん」をのぞいてみましょう！

「**予算**」から何がわかる

 まちだの人と地域がもっと元気になるために、どのような形で市民のみなさんに納めていただいた税金が使われていくのかがわかります。



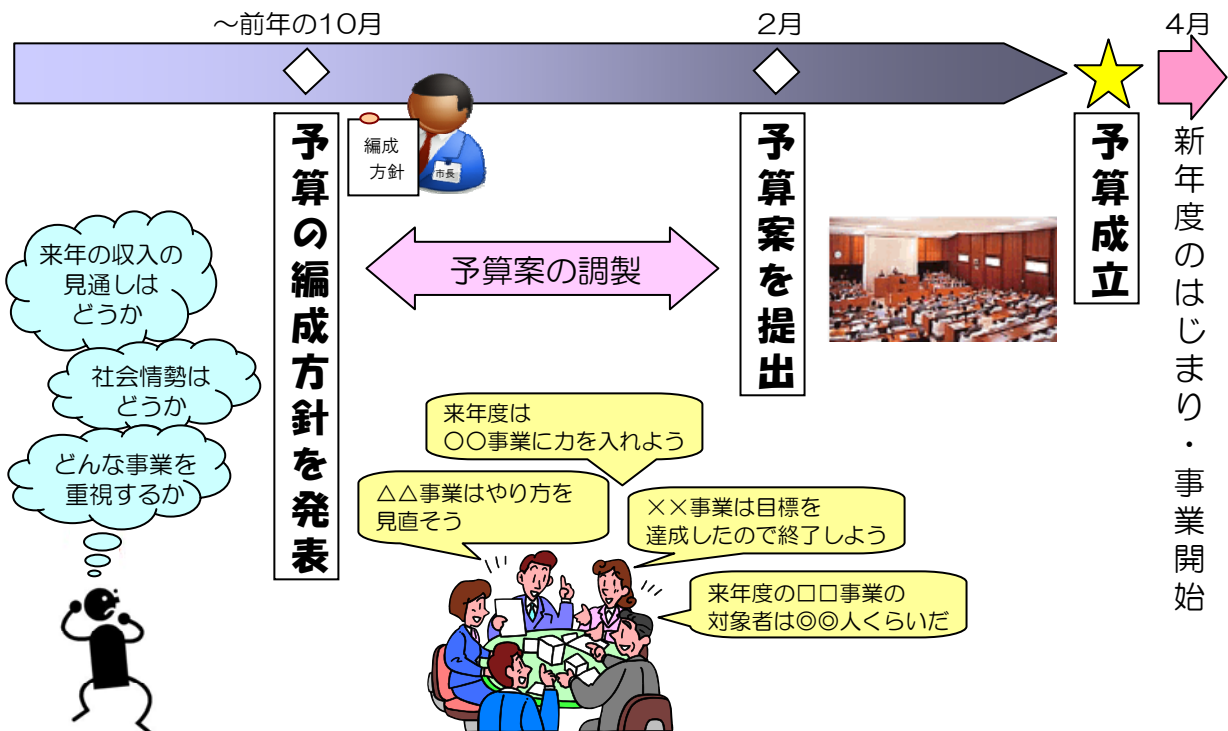
市民すべてが希望の持てるまちのために！

「予算」はどうやって決まる



市長は前の年の夏ごろから予算案の検討を始め、新しい年度が始まる前に議会に予算案を提出します。予算は、市民の代表である議会の議決により成立します。

予算が成立するまでの流れ



①新年度予算の編成方針を決定します

②新年度に実施する具体的な事業とその経費、財源を「予算案」に反映していきます

③市長が予算案を提出し、議会で予算案を審議します



「予算」は途中で変更できない？

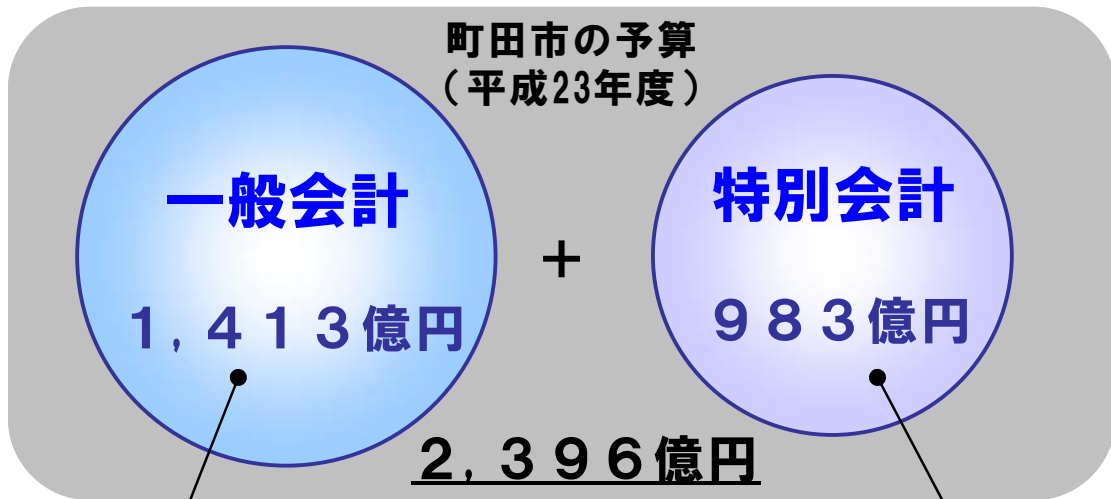
2月に提出する予算案（**当初予算**）は、新年度1年間に実施する事業の経費や財源を見積もった予算です。それでは、予算案の提出時には想定できなかった国の制度改正や、不測の事態などが年度途中で生じた場合、どう対応すればよいのでしょうか。

この場合、市長は年度途中で改めて追加の予算案を調製し、議会に予算案を提出します。この予算を**補正予算**といいます。例えば、東日本大震災の発生を受けて行う災害対策は、6月に行われる議会に提出する**6月補正予算**で対応する予定です。

町田市のお財布の大きさはどれくらい



一般会計は1,413億円
特別会計も合わせた全体では2,396億円です。

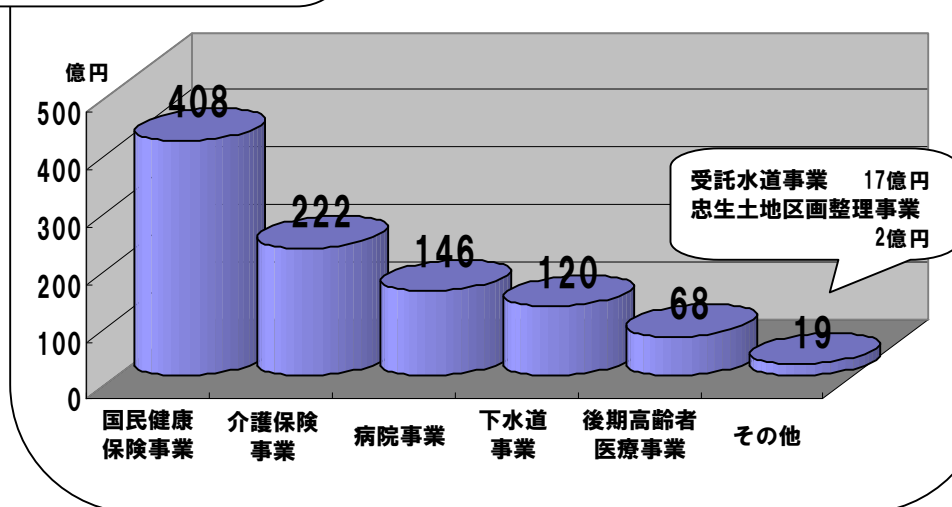


一般会計とは？

通常、市の行政サービスは一つの大きなお財布で経理を行っています。この会計を「一般会計」といいます。一般会計のお財布では、主に市税（市民税や固定資産税など）が使われています。

特別会計とは？

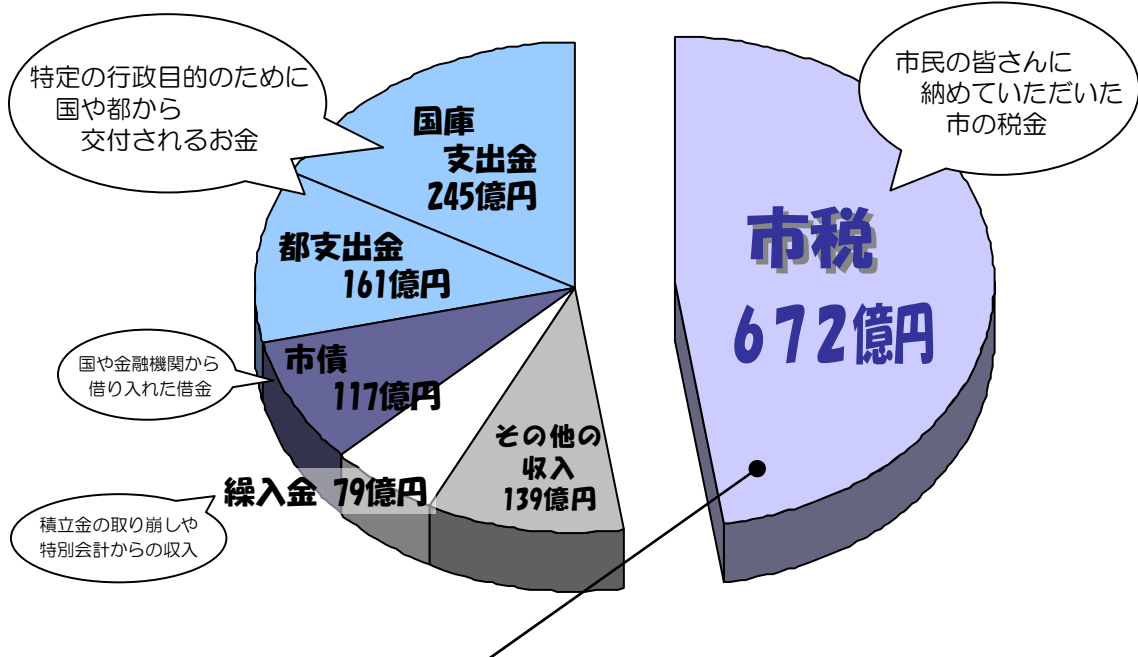
特定の目的を持った事業を行う場合や、下水道料金のような特定の収入をもって事業を行う場合に、一般会計と収支をわけて経理する会計です。



ここからは「**一般会計**」についてのおはなしです。
 一般会計は市の行政サービスを経理する大きな財布です。この財布は主に市民のみなさんに納めていただいた税金によってまかなわれています。

町田市にはどんな収入があるの？

主な収入は市の税金です。
 そのほか国や都からの収入や繰入金、借入金などがあります。



市税の内訳は・・・

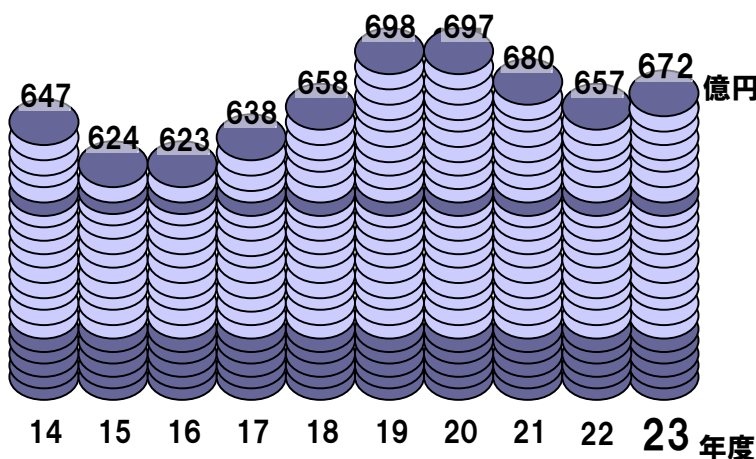
固定資産税	258億円	その他の市税 29億円 たばこの購入に対して課税される「たばこ税」や、大都市の事業所などに課税される「事業所税」などがあります。
個人市民税	306億円	都市計画税 48億円 市街化区域内の土地や家などを持っている人に課税されます。
法人市民税	31億円	土地や家、マンションなどを持っている人に課税されるのが「固定資産税」です。
		個人の所得などに応じて課税されるのが「個人市民税」、市内の会社（法人）の収入などに応じて課税されるのが「法人市民税」です。

市税収入はこの先どうなるの



平成23年度予算は景気の持ち直し傾向から、個人市民税など市税の増加を見込んでいますが、今後の経済状況により減収になる可能性もあります。

市税収入の推移



景気と市税の関係

市民税は個人や市内の会社の所得（収入）でその金額が決まるので、景気が悪化してそれぞれの所得が減ると市税収入も減ってしまいます。

また、固定資産税は土地や家の値段で決まるので、土地の値段が下がると市税収入が減り、開発等で家屋が増えた場合には増えます。

景気に左右されるということは収入として不安定な面もあり、収入に見合った堅実な使い方が必要とされます。

市債 = 借金なら借らないほうがいい



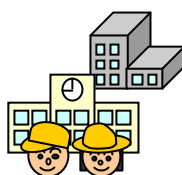
公共施設などをつくるための高額資金を「長期ローン」として借り、将来施設を利用する市民との費用負担を公平にしています。

市債の役割

道路や公園、学校など大きな公共施設をつくるにはたくさんの資金が必要なので、整備する年度だけで支払うと市の他のサービスができなくなってしまいます。また、つくった施設は長期にわたって利用できるため、現在の市民だけでなく将来の市民にもその経費を負担してもらうことが「世代間負担の公平」につながります。

ただし、借金であることに代わりはありません。将来の負担が重くなりすぎないように計画的な借入を行っています。

平成23年度の主な市債



新庁舎建設・・・44億円
 鶴川駅前公共施設整備
 ・・・・8億円
 小中学校施設整備
 ・・・・16億円

公園・緑地整備・・・7億円



道路環境等整備・・・4億円
 臨時財政対策・・・37億円

税金などの収入はどう使う



市民すべてが希望の持てるまちの実現に向けて、福祉や教育、まちづくりなどさまざまなことに使われています。

平成23年度予算 1,413億円のつかいみち



もっとくわしく！「民生費」

- 子ども手当や子どもの医療費助成、保育園や学童保育クラブの運営など、子どものために **255億円**
- 生活に困っている方への生活保護法にもとづく支援のため **115億円**
- 高齢者の方が地域で元気にくらす支援のために **85億円**
- 障がいがある方の生活の支援のために **82億円**
- 国民健康保険のために（繰出金） **71億円**

など

いわゆる「福祉のため」の予算で
一般会計予算の44%を占めています



もっとくわしく！「総務費」

- 市税の課税・徴収や市の運営にかかる職員人件費として **89億円**
- 新庁舎建設費として **77億円**
- よりよいサービスを提供するためのシステム運用・導入のために **22億円**

など

もっとくわしく！「教育費」

- 小・中学校教育の充実のために **125億円**
- 図書館や体育館など社会教育施設・体育施設の運営や文化・芸術活動の支援、スポーツ振興のために **52億円**
- 幼稚園での幼児教育の充実のために **11億円**

もっとくわしく！「土木費」


- 道路整備やよりよい道路環境の維持管理のために **52億円**
- 公園・緑地の整備や維持管理のために **30億円**
- 下水道事業のために（繰出金） **26億円**

など

もっとくわしく！「衛生費」

- ごみの収集・処理や減量・資源化のために **68億円**
- 健康診査・予防接種の実施や医療の充実などの地域保健と生活環境の向上のために **50億円**


市のサービスにはどんな経費がかかっている

 人件費や事務経費だけではなく、生活の向上のため市民に直接支出する経費や公共施設の整備費、市債の返済などがあります。

義務的経費


人件費 244億円

職員の給与や諸手当、議員や委員の報酬など人にかかる経費



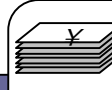
扶助費 392億円


児童手当や保育園入所費、障がい者自立支援給付、生活保護費など、社会保障の一環として生活の向上のために市民に対して支出する経費



公債費 62億円

過去に借りた市債の元金と利子の返済にかかる経費



1,413億円のつかいみち見方を変えると 

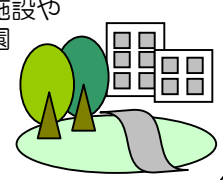
毎年の支出が必ず必要で減らすことが難しい経費

将来の資本の形成につながる経費

義務的経費・投資的経費以外の経費

普通建設事業費 203億円

市民が利用する施設や学校、道路、公園などの整備にかかる経費



投資的経費

物件費 206億円

市がサービスを提供するためにかかる事務経費や、公共施設の管理運営にかかる経費



補助費等 120億円

広域での廃棄物処分のように他の市と合同で行うサービスに対する負担金や、特定の事業を推進するための補助金

繰出金 167億円

一般会計から特別会計への支出



その他の経費

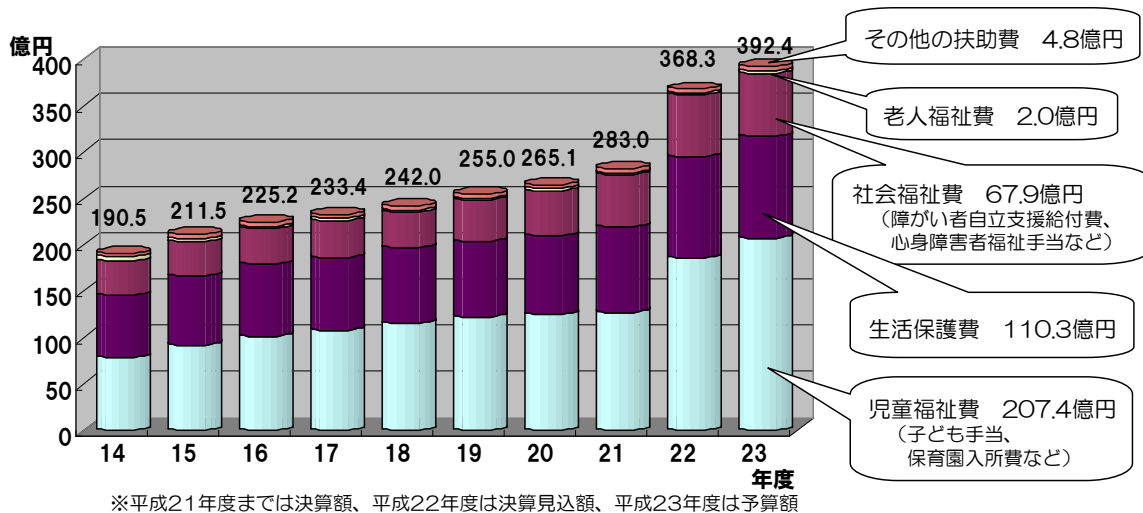
施設の修理費や基金への積立金など

その他 19億円



「扶助費」が年々増えています

扶助費はこの10年で2倍以上の伸びを示しています。ここ数年では、平成22年度から導入された子ども手当や保育園に入る子どもが増えていることにより、児童福祉費に関する扶助費が特に増えています。また、景気低迷などの影響により、生活保護費も増えています。



市職員の「人件費」の内訳は・・・

支出の17.3%を占める人件費のうち、市職員の人件費の内訳は、以下のとおりです。
 なお、市職員の給与の状況については、毎年11月に広報まちだと市ホームページで詳しくお知らせしています。

職員 (2,253人)	213.6億円
給料	89.3億円
手当	95.3億円
(うち退職手当)	(27.1億円)
共済費	29.0億円

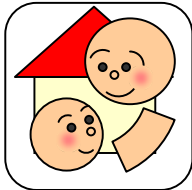
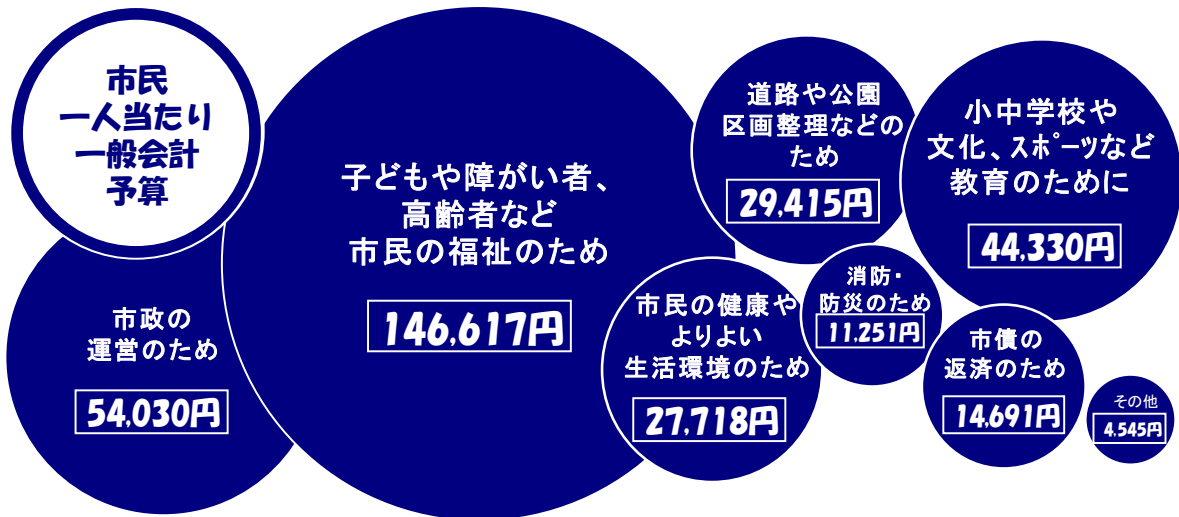
一般行政職の場合
職員1人あたりの
平均給与月額
438,318円

予算をもっと身近な数字であらわすと



一般会計を市民一人当たり（※）に換算すると332,597円です。
ただし、予算のつかいみちの中には特定の人が対象のものもあります。

（※）平成23年1月1日現在人口 424,828人 から算出



保育園の運営

保育園に通っている園児一人当たり

1,632,379円

保護者の負担	205,279円
国・東京都の負担	635,111円
その他の収入	5,215円
市の負担	786,774円



学童保育クラブの運営

クラブに通っている児童一人当たり

397,525円

保護者の負担	62,733円
東京都の負担	114,887円
その他の収入	112円
市の負担	219,793円

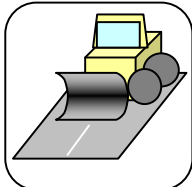


ごみの処理

市民一人当たり

14,541円

ごみを出した人の負担	2,514円
資源化物の売払・基金の活用	1,502円
その他の収入	509円
市の負担	10,016円

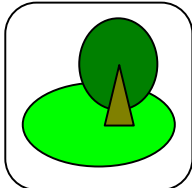


道路の整備・維持補修

市民一人当たり

12,221円

国・東京都の負担	2,782円
市債の借入	684円
その他の収入	1,690円
市の負担	7,065円

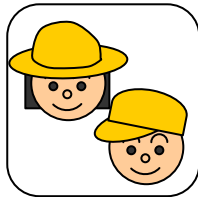


公園・緑地の整備・維持管理

市民一人当たり

7,013円

国・東京都の負担	1,097円
市債の借入	1,549円
使用料・基金の活用など	379円
市の負担	3,988円

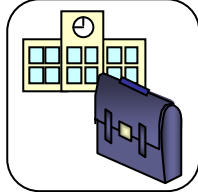


小学校の運営

(先生の人件費は含みません)

児童一人当たり **175,722円**

国・東京都の負担 **4,454円**
 その他の収入 **238円**
 市の負担 **171,030円**

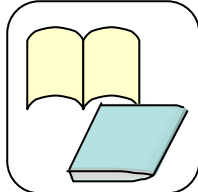


中学校の運営

(先生の人件費は含みません)

生徒一人当たり **167,778円**

国・東京都の負担 **5,649円**
 その他の収入 **76円**
 市の負担 **162,053円**



図書館の運営

市民一人当たり

2,650円

コピー機使用料など **44円**
 市の負担 **2,606円**



体育施設の運営

市民一人当たり

1,229円

市の負担 **1,229円**
 ※使用料は指定管理者の収入として扱われています



まちだのよさんを1万分の1の数字でみると・・・

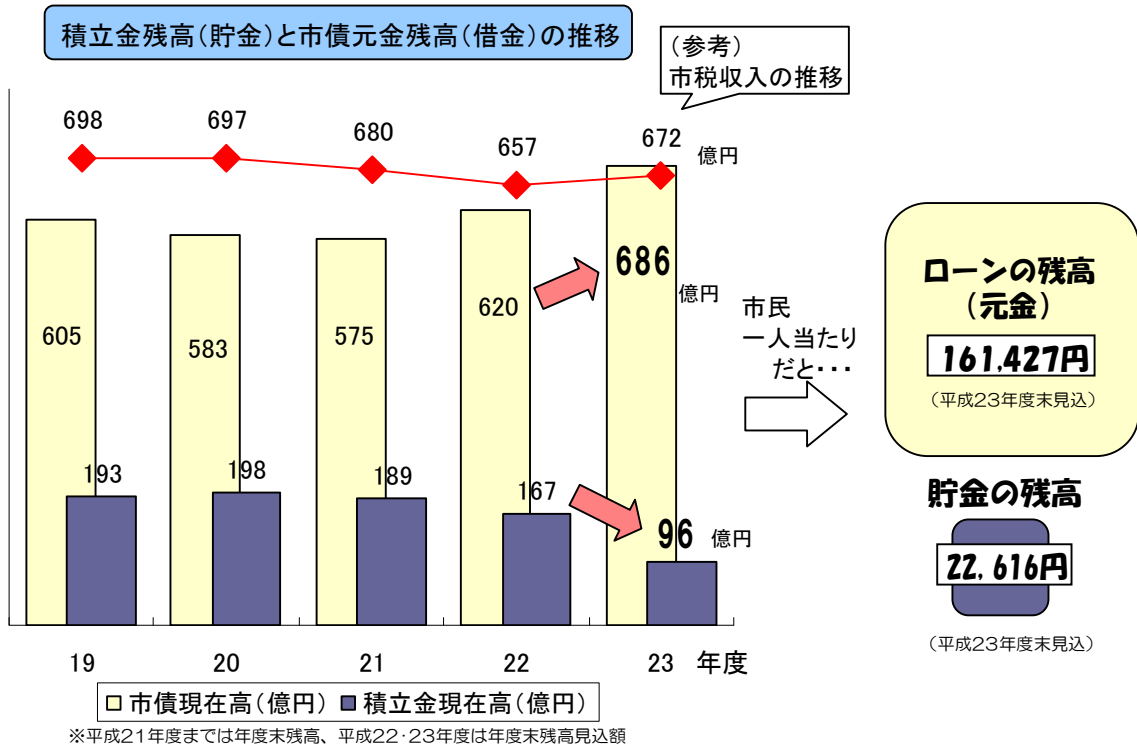
市にはいろいろな収入や支出があり、普通の家とその種類や内容が違ってはいますが、予算を家計簿としてたとえると次のような感じです。

収 入		支 出	
給与	1,146 万円	食費 (人件費)	245 万円
基本給 (市税)	672 万円	医療費 (扶助費)	392 万円
諸手当 (国・都支出金、各種交付金 など国や都の税金から交付 されるお金)	474 万円	光熱水費・日用品代など (物件費など)	337 万円
不動産収入 (使用料や財産収入など)	51 万円	車の購入や家の増改築 (投資的経費)	203 万円
貯金の取崩し (繰入金)	79 万円	貯金への積立 (積立金)	7 万円
ローンの借入れ (市債)	117 万円	ローンの返済 (公債費)	62 万円
その他の収入 (繰越金・諸収入など)	20 万円	子どもへの仕送り (繰出金)	167 万円
収入合計	1,413 万円	支出合計	1,413 万円

町田市の貯金と借金はどれくらい



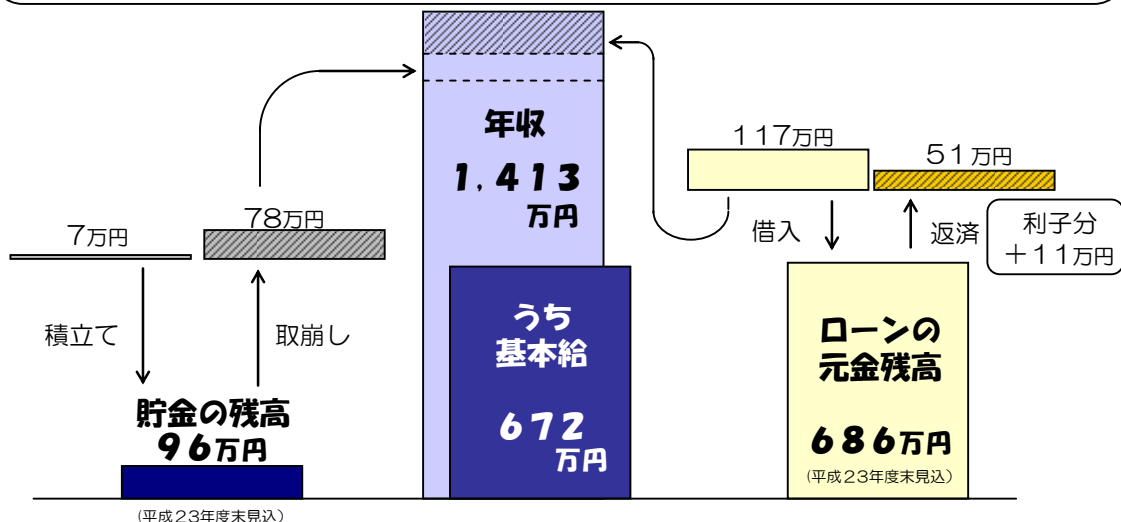
一般会計では、平成23年度末見込での積立金（貯金）残高が96億円、市債（借金）残高が686億円です。



町田市のやりくりを1万分の1の数字で家計にたとえると...

基本給(=市税)672万円の世帯が、車や住宅の購入などで5~20年のローン(=市債)を組んでいる状態です。今年のローン返済額は62万円(元金51万円、利子11万円)、その一方で新しく117万円のローンを組むため、年度末のローン残高(元金)は686万円です。

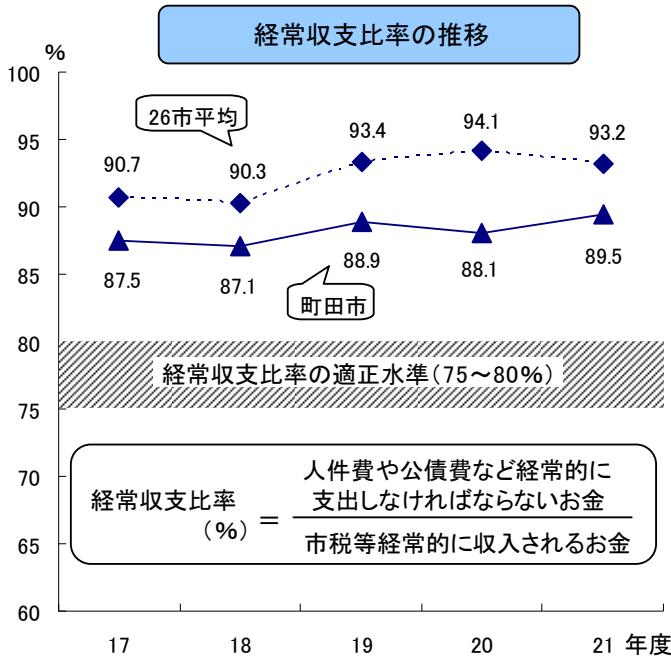
また、貯金(=基金)は1年間に78万円を取り崩し、7万円を積み立てることで、年度末に96万円が残ります。



町田市の財政状況はどうなっているの



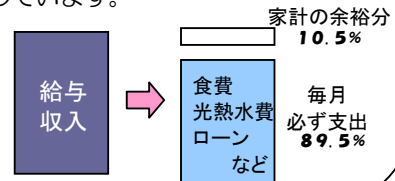
黒字が続いていますが、入ってくる収入に対して毎年必要とされる支出が大きな割合を占めており、財政的な余裕が少ない状況です。



経常収支比率について

家計にたとえると、毎月の給与収入に対して、食費や光熱水費、ローンの返済など毎月支出が必要な経費がどれくらいの割合かを示すものです。

経常収支比率の適正水準は75~80%といわれていますが、**町田市は80%台後半**の数値が続いています。経常収支比率が高い状態はそれだけ**自由に使えるお金が少ない**状態なので、適正水準と比べて今後の財政需要に柔軟に対応する財政的な余裕が少ないことをあらわしています。

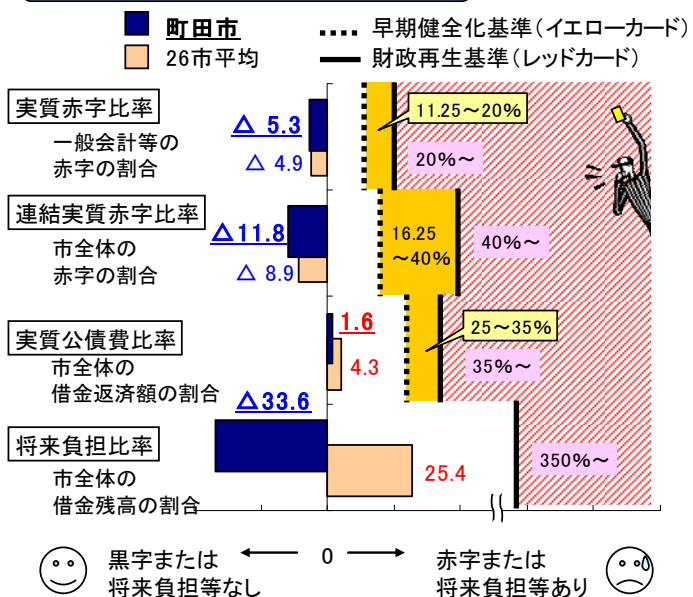




市財政の破たん状態とは？

市の赤字の額や借金の金額、借金の返済額がある程度大きくなってしまえば、「イエローカード」や「レッドカード」が出され、市の財政が破綻しそうな、または破たんした状態になったとみなされます。この財政状況をはかる4つのモノサシを「健全化判断比率」といいます。

町田市の健全化判断比率は、「イエローカード」「レッドカード」の基準を下回っており、「**財政健全化団体**」「**財政再生団体**」になる状態ではありません。

町田市の健全化判断比率(平成21年度)




 おおまかな予算と財政のつくりについておわかりいただけましたか。
 ここからは、平成23年度のまちだの人と地域をもっと元気にするための
 具体的な方法（事業）についてみていきましょう。
 


町田の未来を築く！


平成23年度は、日本経済の景気低迷により厳しい財政状況が見込まれる中での編成となりましたが、市民の不安を解消し、将来に向けた町田の成長を確かなものにしていくため、5つの政策の方向性「安心して暮らせるまち」「夢のあるまち」「環境に配慮したまち」「活力あふれるまち」「情報共有による協働の推進」に沿って「町田の未来を築く」予算を編成しました。


平成23年度の重要な取り組み


平成24年度を初年度とした新しい基本計画と中期経営計画を策定します。また、平成23年4月からの保健所政令市移行に伴い、保健所業務を開始します。

○新中長期計画策定事業 4,595 万円 ○町田市保健所事業 2 億9,890 万円


安心して暮らせるまち


市民生活における不安の解消に取り組み、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ○子ども手当支給事業
97 億1,743 万円 | ○小中学校トイレ改修事業
2 億4,775 万円 |
| ○小山中学校新設事業
20 億8,215 万円 | ○子どもセンター整備事業
2,427 万円 |
| ○小中学校空調機設置事業
6 億3,100 万円 | ○あんしん相談室事業 1,308 万円 |
| ○待機児童解消対策事業
5 億3,265 万円 | ○公立保育園再編事業 1,205 万円 |
| ○小中一貫校整備事業
3 億8,480 万円 | ○介護人材開発事業 1,031 万円 |
| ○予防接種費用助成事業
3 億3,123 万円 | ○防災センター整備事業 850 万円 |
| ○特別養護老人ホーム整備事業
3 億2,532 万円 | ○高齢社会総合計画改定事業
723 万円 |
| | ○保健医療計画改定事業 598 万円 |
| | ○障がい者雇用特例子会社設立支援事業
300 万円 |



夢のあるまち

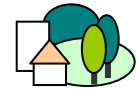


生活にゆとりと潤いを与え、明るく豊かな地域社会の形成のため、スポーツや文化・芸術を核とした夢のあるまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ○鶴川駅前公共施設整備事業
12億2,381万円 | ○第68回国民体育大会開催準備事業
9,488万円 |
| ○小野路公園野球場整備事業
1億9,122万円 | ○市民センター・地域センター建替事業
3,843万円 |
| ○町田市立陸上競技場整備事業
1億8,393万円 | ○国際版画美術館展示事業
2,842万円 |
| | ○生涯学習センター設置事業
1,378万円 |

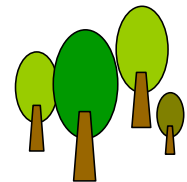


環境に配慮したまち

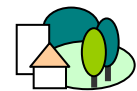


地球温暖化対策に取り組むとともに、みどり豊かなまちづくりを進めます。主な事業は次のとおりです。

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ○公園整備事業 9億9,903万円 | ○リサイクル施設整備事業
3,371万円 |
| ○ごみ減量普及事業 8,551万円 | ○環境マスタープラン改定事業
1,800万円 |
| ○北部丘陵整備事業 7,901万円 | |
| ○都市農業経営パワーアップ事業
4,500万円 | |



活力あふれるまち




暮らしやすい都市、活力ある都市の実現に向けて、まちの魅力を高める取り組みを進めるとともに、公共交通の充実を図ります。主な事業は次のとおりです。

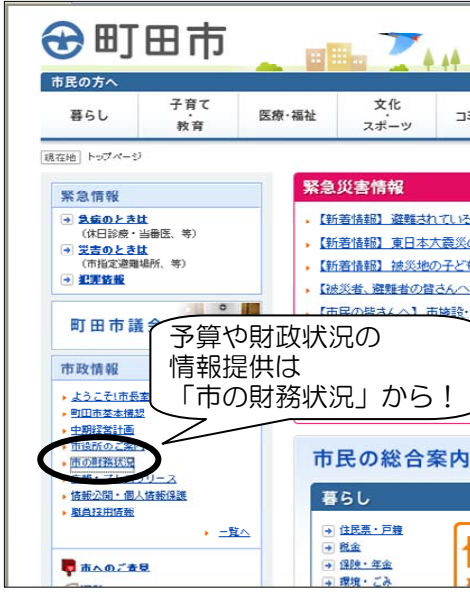
- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ○新庁舎建設事業
76億6,790万円 | ○観光交流センター整備事業
1億673万円 |
| ○主要道路整備事業
13億6,008万円 | ○地域コミュニティバス運行事業
2,002万円 |
| ○路線バス利用促進事業
2億3,475万円 | ○原町田一丁目地区まちづくり事業
1,275万円 |
| | ○下水道ビジョン策定事業 593万円 |

「まちだのよさん」は予算をわかりやすく伝えるため、400ページを超える
 予算書の一部を紹介したものです。この冊子を手にとっていただいたことを機に
 「もっと予算や財政について知りたい！」と思っただければさいわいです。

もっと予算や財政について知りたい場合は

 町田市では、予算書の閲覧・販売のほか、
 予算や財政状況についての情報提供を行っています。

区分	資料名	説明	市政情報やまびこ		市内 各図書館 での閲覧	町田市 公式Web サイトへの 掲載
			閲覧	販売・配布		
予算	予算書	市議会で「予算案」として審議され議決される、予算に関する説明書です。	○	有料	○	
	予算概要	予算の全体的な状況や市の特長な事業を説明した『予算の概要』に、組織別の予算をまとめた「部・局別予算概要」を合わせた冊子です。	○	有料	○	○
	予算の概要	『予算概要』のうち、予算の全体的な状況や市の特長な事業を説明した冊子です。	○	無料		○
	広報まちだ 4/21号	平成23年度予算の主な事業と予算額など、予算の概要を第2部予算特集においてお知らせしています。	○		○	○
財政 状況	町田市の 財政	前年の決算の数値を用いた年度間比較、他市比較などにより町田市の財政状況を説明した冊子です。	○	有料	○	○
	まちだの 市税の つかいみち	一般会計の前年度決算の状況を「市税のつかいみち」という視点でまとめた冊子です。	○	無料	○	○



町田市公式Webサイト
<http://www.city.machida.tokyo.jp>
 でご覧いただけます（PCのみ）

町田市公式Webサイトでは、
 ここで紹介したほかにも
 財政状況についての資料を
 随時追加・更新しています！

予算や財政状況の
 情報提供は
 「市の財務状況」から！

平成23年度 まちだのよさん

発 行 者 町田市
住 所 〒194-8520
東京都町田市中町1-20-23
電 話 042-722-3111 (内線2131~6)
発 行 日 平成23年5月
編 集 町田市役所財務部財政課

庁 内 印 刷

刊行物番号 : 11-11

